

事務事業名	小切手の振出し事務			担当	会計管理者 会計課 出納係		
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり			増補版施策名		
施策名	1	市民本位の窓口サービスの向上			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 S29 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	地方自治法第232条の6地方自治法施行令第165条の4真岡市小切手等事務取扱規程						
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費		4. 会計管理費		
事業概要	債権者への支払いをするため、指定金融機関へ小切手を振り出す事務。小切手を振り出す際には振出簿に年度、日付、金額、小切手番号等を記入し、決裁を受ける。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 29年度実績 指定金融機関への小切手の振出し  30年度計画 28年度と同様		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
		ア 小切手の発行枚数	枚	738	796	781	808	810
		イ 小切手の振り出し金額	千円	52,213,929	53,148,234	60,049,790	54,980,526	55,000,000
		ウ						
		エ						
		オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 債権者、手当受給者		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
		ア 指定金融機関への発行枚数	件	738	796	781	808	810
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 債権者への支払の利便性、安全性を確保するため小切手の振出しを行う		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
		ア 安全に振り出された小切手の割合	%	100	100	100	100	100
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 適正に処理された会計事務		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
		ア 安全に処理された会計事務の割合	%	100	100	100	100	100
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	0	0
	事業費計(A)		千円	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	180	180	180	212	212
		人件費計(B)	千円	760	754	748	880	880
トータルコスト(A)+(B)		千円	760	754	748	880	880	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	支払事務の利便性、安全性を確保するため
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	支払日を調整することにより小切手発行枚数の減をはかった
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	